



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL http://www.sakura-rubber.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,025	7.0	160	△39.8	179	△28.6	125	△20.5
29年3月期第2四半期	3,760	△6.8	265	5.8	251	6.7	158	△28.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 148百万円(△13.4%) 29年3月期第2四半期 171百万円(△22.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	12.80	—
29年3月期第2四半期	16.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,120	6,017	49.6
29年3月期	13,025	5,918	45.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 6,017百万円 29年3月期 5,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年 3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年 3月期	—	0.00	—	—	—
30年 3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	4.0	900	△4.8	860	△5.5	530	△6.4	53.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	10,120,000株	29年3月期	10,120,000株
30年3月期2Q	280,043株	29年3月期	279,095株
30年3月期2Q	9,840,617株	29年3月期2Q	9,843,470株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ

「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)	5
四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復に一服感はあるものの内需は底堅く、世界経済の回復とともに輸出も持ち直しており、企業の生産活動と設備投資は堅調に推移し、緩やかな回復基調にあります。一方、国内では人手不足感の高止まり、海外では各国の政策動向や新興国経済の減速懸念、地政学リスクの不透明さなど、先行きに慎重さを求められる状況が続いております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、引き続き国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、新事業の展開、既存事業の掘り起しなどの積極的な営業活動と、付加価値の高い製品の企画・開発、一層のコスト削減活動及び生産効率の向上などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は40億2千5百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益1億6千万円（前年同期比39.8%減）、経常利益1億7千9百万円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億2千5百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

第1四半期に引き続き消防用ホースや防災車両の販売が減少したものの、防災資機材やテロ対策資機材の販売が増加したことにより、売上高14億1千8百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント損失（営業損失）は9千6百万円（前年同期は9千6百万円のセグメント損失）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門では、P-1/C-2などの大型機向け部品やF7-10エンジン向け部品の販売が堅調に推移しております。工業用品部門では、絶縁接続管や金型関連は堅調だったものの、タンクシールは交換需要が減少しており販売減となりました。

その結果、航空・宇宙、工業用品事業の売上高は23億6千6百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益（営業利益）は3億6千万円（前年同期比18.5%減）となりました。

<不動産賃貸事業>

売上高は2億3千9百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益（営業利益）は修繕費の増加により4千9百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間における流動資産は80億2百万円（前連結会計年度末比8億5千9百万円減）となりました。主として、現金及び預金が1億4千9百万円、売上債権回収により受取手形及び売掛金が10億5千7百万円それぞれ減少した一方、たな卸資産が3億4千7百万円増加したことによるものです。また、固定資産は41億1千8百万円（前連結会計年度末比4千5百万円減）となりました。

この結果、資産合計は121億2千万円（前連結会計年度末比9億5百万円減）となりました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間における流動負債は41億4千7百万円（前連結会計年度末比7億1千2百万円減）となりました。主として、1年内償還予定の社債が1億8千4百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が4億6千2百万円、未払法人税等が1億3千7百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定負債は社債が2億円減少し、19億5千5百万円（前連結会計年度末比2億9千1百万円減）となりました。この結果、負債合計は61億3百万円（前連結会計年度末比10億4百万円減）となりました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間における純資産は60億1千7百万円（前連結会計年度末比9千9百万円増）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1億2千5百万円による増加、剰余金の処分4千9百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては平成29年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,192,467	2,042,626
受取手形及び売掛金	4,207,647	3,150,347
商品及び製品	76,636	152,523
半製品	527,276	635,976
仕掛品	1,083,067	1,198,928
原材料及び貯蔵品	617,421	663,976
その他	162,303	161,619
貸倒引当金	△4,563	△3,437
流動資産合計	8,862,257	8,002,561
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,848,499	1,822,550
土地	1,300,491	1,300,491
その他（純額）	456,358	428,700
有形固定資産合計	3,605,349	3,551,742
無形固定資産	14,987	14,167
投資その他の資産		
投資有価証券	283,593	296,882
その他	259,858	255,687
貸倒引当金	△238	△238
投資その他の資産合計	543,212	552,330
固定資産合計	4,163,549	4,118,240
資産合計	13,025,807	12,120,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,415,708	953,412
短期借入金	1,320,000	1,300,000
1年内償還予定の社債	36,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	742,235	751,227
未払法人税等	196,472	58,902
賞与引当金	247,604	243,896
役員賞与引当金	83,000	40,000
その他	819,257	580,267
流動負債合計	4,860,278	4,147,706
固定負債		
社債	200,000	—
長期借入金	961,089	952,221
役員退職慰労引当金	250,361	188,327
退職給付に係る負債	536,592	530,995
資産除去債務	11,467	11,599
その他	287,534	272,174
固定負債合計	2,247,044	1,955,317
負債合計	7,107,322	6,103,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	5,317,604	5,394,362
自己株式	△84,963	△85,377
株主資本合計	6,024,071	6,100,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,666	96,584
退職給付に係る調整累計額	△193,253	△179,220
その他の包括利益累計額合計	△105,587	△82,636
純資産合計	5,918,484	6,017,778
負債純資産合計	13,025,807	12,120,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,760,620	4,025,127
売上原価	2,683,305	2,980,368
売上総利益	1,077,314	1,044,759
販売費及び一般管理費	811,645	884,702
営業利益	265,669	160,056
営業外収益		
受取利息	42	27
受取配当金	3,501	4,526
受取地代家賃	5,428	5,683
保険返戻金	—	29,954
為替差益	3,920	235
貸倒引当金戻入額	1,356	1,126
その他	2,529	6,104
営業外収益合計	16,778	47,657
営業外費用		
支払利息	25,568	22,589
社債利息	1,290	890
その他	3,968	4,452
営業外費用合計	30,828	27,932
経常利益	251,620	179,782
特別利益		
固定資産売却益	4,160	12
投資有価証券売却益	165	1,844
特別利益合計	4,326	1,856
特別損失		
固定資産売却損	—	222
固定資産除却損	145	1,409
特別損失合計	145	1,632
税金等調整前四半期純利益	255,800	180,007
法人税、住民税及び事業税	96,377	51,424
法人税等調整額	884	2,620
法人税等合計	97,262	54,045
四半期純利益	158,537	125,962
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,537	125,962

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	158,537	125,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,216	8,918
退職給付に係る調整額	12,122	14,032
その他の包括利益合計	13,338	22,950
四半期包括利益	171,876	148,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,876	148,912
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	255,800	180,007
減価償却費	100,513	129,133
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,356	△1,126
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,581	△3,707
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,498	△43,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,440	△62,033
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18,822	14,449
受取利息及び受取配当金	△3,543	△4,553
支払利息	26,859	23,479
固定資産売却損益 (△は益)	△4,160	209
固定資産除却損	145	1,409
投資有価証券売却損益 (△は益)	△165	△1,844
売上債権の増減額 (△は増加)	1,269,251	1,057,299
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△363,260	△347,003
仕入債務の増減額 (△は減少)	△821,265	△463,214
その他	△40,176	△132,734
小計	399,825	346,772
利息及び配当金の受取額	3,368	4,302
利息の支払額	△26,987	△23,479
法人税等の支払額	△197,185	△179,226
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,021	148,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10,000
有形固定資産の取得による支出	△79,414	△234,594
有形固定資産の売却による収入	4,160	125
投資有価証券の取得による支出	△598	△100
投資有価証券の売却による収入	235	2,617
その他	△18,275	21,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,892	△200,800
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△133,000	△16,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△235,000	△20,000
長期借入れによる収入	460,000	410,000
長期借入金の返済による支出	△377,973	△409,876
自己株式の取得による支出	—	△413
配当金の支払額	△46,764	△46,818
その他	△936	△4,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,674	△87,409
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△248,545	△139,840
現金及び現金同等物の期首残高	2,104,454	2,013,267
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,855,909	1,873,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,239,247	2,277,566	243,806	3,760,620	—	3,760,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,300	3,300	△3,300	—
計	1,239,247	2,277,566	247,106	3,763,920	△3,300	3,760,620
セグメント利益又は損失(△)	△96,933	442,293	67,028	412,388	△146,718	265,669

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,718千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,418,899	2,366,830	239,397	4,025,127	—	4,025,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4,044	4,044	△4,044	—
計	1,418,899	2,366,830	243,441	4,029,171	△4,044	4,025,127
セグメント利益又は損失(△)	△96,199	360,617	49,295	313,713	△153,656	160,056

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,656千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。